



花かつみの里 2024



No. 25

「運動会」で子どもたちの様子を見ていて、ある出来事を思い出しました。

私が小学校の時の「運動会」の思い出

人には、忘れてくてもどうしても忘れることができない出来事があるのではないのでしょうか。

私(中澤)にとっては、小学校6年生の運動会の時の出来事です。

運動会のリレーは、クラスの代表のみが参加できる花形種目でした。

私は特に足が速いというわけではありませんでしたが、リレーの選手になれるかどうかのポジションにはいました。

結局、その年はリレーの選手にはなれずに、補欠になりました。

最後の年なので、絶対リレーの選手になりたいと思っていた私にとっては、不幸でした。

ある日、リレーの選手であった友だち

が『おたふくかぜ』にかかり、運動会に参加できないことを知りました。

つまり、補欠の自分が、正選手としてリレーに参加できるようになったのです。

人の不幸を喜んではいけませんが、私にとってはまさしくラッキーでした。

そして、運動会当日。

ラッキーは重なり、私はリレーの中でも花形中の花形、アンカーとなりました。

私は、トップでバトンを受け取りました。このままゴールすれば、間違いなくヒーローです。



しかし、走る練習を積み重ねてきた他の選手と、ほとんどぶっつけ本番の自分との実力の差が歴然としており、あっという間にみんなに抜かれてしまいました。

リレー選手になれたという点では幸運でしたが、リレーを盛り上げる引き立て役になってしまった点では、不幸でした。

人生、何が起こるかわかりませんね。

ドローンを使って写真を撮りました!



* カラー版は、本校のホームページをご覧ください。